東海民放クラブだより

椙山女学園大学特別授業
ＣＢＣラジオ名作ドラマの再現

成田　徹男（ＣＢＣ）

平成27年から始めた特別講義、昭和20年後半から昭和30年代前半に放送されたCBCラジオドラマ「放送劇・軽の太子とその妹」「赤猪子の恋」「雪女」「天女」に続いて、今回は、昭和34年12月27日に放送された「あの窓この窓（その八）翼の歌」を取り上げ、ドラマの再現実演を出前しました。

担当の能楽研究家・飯塚恵理人教授（文学博士）に授業の総括をして頂きました。

リハーサル風景

飯塚恵理人教授

解説者：松谷敦氏

今年度「デジタルアーカイブ論」
―昭和期ラジオドラマの教室での再現報告―

飯塚恵理人　教授

放送演劇が、戦後の演劇界にとっても大きな成果と影響をもたらしたことはよく知られているが、記録の公刊があまり多くなかったこともあり、これまで学術的な研究対象とされることは少なかった。

文化情報学科の「デジタルアーカイブ論」では、昭和30～40年代のラジオドラマの再現を東海民放クラブの方々の御協力の下、年一回行ってきた。

今回、文化情報学部講義「デジタルアーカイブ論」（一）、実演家に学ぶ（二）同窓生に学ぶシリーズの一環として、中部日本放送のラジオドラマ「翼の歌」（寺山修司作・松谷敦演出）の放送再現を試みる。

当時の演出担当であった松谷敦氏に演出をお願いし、「劇団CBC」に在籍されていた舟木淳氏・松ヶ崎敬子氏（元CBCアナ）マツガサキアサミ氏の御出演を戴き、音響・効果音もサンプラーを使用して、できるだけ放送当時のままを再現、学生達に耳から聴いた文学作品の情景を思い浮かべる想像力を養ってもらうとともに、教室で再現劇を録音・録画してデジタル化・アーカイブ化し、資料保存として残すことになる。

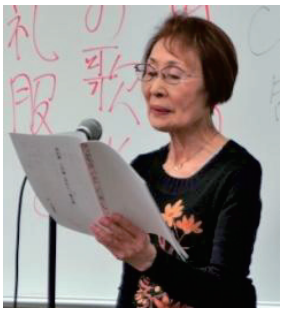
学生からは「夏美の声が本当の小学生のよう」「嘘をつく母親の声がやさしい」など、声優の声が聴く者に情景を思わせる技術に感動したという声が多く、ラジオを聴かない現代の学生達にその素晴らしさを体験させることが出来た。

ゲスト講師の方々と高橋信三記念放送文化振興基金に心より感謝申し上げる。

音声システムの構築
デジタルミキサー
サンプラー　マイク４本
IC Recorder　ＰＡ

白濱洋介氏

マツガサキアサミ氏



松ヶ崎敬子氏

舟木 淳 氏

写真　武藤美喜氏（ＮＢＮ）